

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「レジ袋“購入”1割以下に 袋持参が6割超え」
- 2) 「高齢者に優しいスローレジ 利用者のペースにあわせて対応」
- 3) 「無印良品、家具・インテリア用品の月額定額サービス開始」

---

1) 「レジ袋“購入”1割以下に 袋持参が6割超え」

消費者調査会社、リサーチ・アンド・イノベーション（東京・港）は、プラスチック製レジ袋有料化が始まった1日に、レジ袋を購入した買い物客が1割を下回ったとする調査結果を発表した。袋を持参した客は6割を超えた。同社は「エコバッグなどの利用が進んでいる」とみている。

同社の展開する家計簿アプリを通じて、ユーザーの男女約1万人にアンケートした。

「プラ製のレジ袋を買いましたか」という質問に「買った」と回答したのは8.6%。「自分の買い物袋（マイバッグやエコバッグ）を使った」と答えたのが62.7%と最も多かった。

7月1日の初日から、意外な結果が出たなと感じた。だが、実際にエコバッグを使ってみてレジ袋の使い勝手の良さやエコバッグの問題点に気づいたり、これから割合が変動する可能性も大いにあるのではないだろうか。コロナ禍である今エコバッグを持参するリスクや、想定外のクレーム、レジ従業員が毎回必要か不必要か聞かなければならないといった手間もあり、今後課題が浮き上がってくることも考えられる。環境問題も意識しながら一番良い利用方法を考えていきたい。

(2020/07/12 日経MJ)

---

2) 「高齢者に優しいスローレジ 利用者のペースにあわせて対応」

高齢者やハンディのある人が焦らずにゆっくり会計ができる「スローレジ」の取り組みが、福岡県行橋市の「ゆめタウン南行橋店」で8日、始まった。高齢者に安心して買い物を楽しんでもらうとともに、会計に時間がかかる人へ配慮する気持ちが一般の人にも広がることを関係者は期待する。

スローレジは、高齢者や障害者を支援するNPO法人たすけ愛京築（行橋市）を運営する阿部かおりさん（53）が提案した。高齢者から「レジで財布からお金を取り出すのに時間がかかり、行列ができると焦る」「後ろに並んだ人にイライラされると買い物が嫌になる」という声を耳にすることが多かったためだ。阿部さんによると、九州では初めての取り組みという。

同店は今後、毎月第2・4水曜日の午後1-3時に設ける。6台ある食品レジの一つに「スローレジ実施中」のプレートを掲げ、レジスタッフが利用客のペースに合わせて対応する。

キャッシュレスやレジのセルフ化で効率化が図られる昨今の状況とは相対する取り組みだが、そのような中だからこそ価値の生まれることだと思う。こうした対応があれば周りに

気兼ねなく自分のペースで支払いができるし、買い物が嫌になる気持ちも軽減されるのではないか。今は限られた時間だけの対応のようだが、店を選ぶ大きな要素となり得るので可能な限り常設しても良いのではないかと思う。

(2020/07/10 毎日新聞)

---

### 3) 「無印良品、家具・インテリア用品の月額定額サービス開始」

無印良品を展開する良品計画は7月17日、月額800円からはじめられるホームオフィスセットなど、家具・インテリア用品の月額定額サービスの受付けを限定店舗で開始する。

同時に、今の部屋を少し変えるだけで、簡単にコンパクトなホームオフィスを作れる「プチリノベーション」も受注を開始し、くらしにまつわる悩みや困りごとを専任のアドバイザーにオンラインで相談できる「くらしの相談会」の展開も拡大する。

新型コロナウイルスの影響などにより働き方が大きく変化している中で、「家で働く」こともくらしの一部となっており、自宅にワークスペースを確保し、心地良く働ける環境を整える需要が急速に高まっていることに対応する。

月々800円からはじめるホームオフィスは、無印良品とIDEEの家具・インテリアを、「寝る」「学ぶ/働く」「くつろぐ」という3種の基本セットにし、手頃な月額定額料金で利用頂けるサービス。

年単位の契約で、1年/2年/3年/4年のプランを用意している。選択したプランの期間が満了した際には、「解約・返却」「契約延長」を選択する。また、希望するお客は、買い取り手数料を支払うと商品を買取することもできる。

月額定額サービスを活用することで、暮らしを変えるタイミングに家具の処分に悩むこともなく、廃棄物の削減にもつながる。「所有ではなく利用」というモノとの向き合い方を、無印良品から広げていきたいという。

利用料金は、月額利用料のほか、初回のみ配送料が必要。有料で、家具組み立てサービスも提供する。

受注店舗は、無印良品 銀座、錦糸町パルコ、グランフロント大阪、イオンモール堺北花田、京都山科、名鉄名古屋百貨店、MUJI キャナルシティ博多。

テレワーク向けにはもちろん、一人暮らしを始める方やおしゃれにしたいが組み合わせが難しいといった需要にも対応できるサービスではないだろうか。家具の処分に困った経験は誰しも一度はあると思うが、廃棄物削減の点でも無印良品らしい取組みだと感じた。大型の家具等はすべてリース契約できると有難いし、環境にも優しいのではないだろうか。

(2020/07/10 流通ニュース)